



るうてる



2019年
12月
No.864

■発行所■
日本福音ルーテル教会事務局広報室
〒162-0842 東京都新宿区市谷砂土原町 1-1
電話 03-3260-8631

■ウェブサイト■ <http://www.jelc.or.jp>

■E-mail■ jelc@jelc.or.jp

■発行人■ 李明生 koho@jelc.or.jp

■印刷人■ 精文堂印刷株式会社

■定価■ 1部 40円 (郵税を含む)

■振替口座■ 00190-7-1734

説教 「幸いを実感できるか?」

九州ルーテル学院大学 チェプレン 黄大衛

「心の貧しい人々は、幸いである、天の国はその人たちのものである。」

(マタイによる福音書5:3)

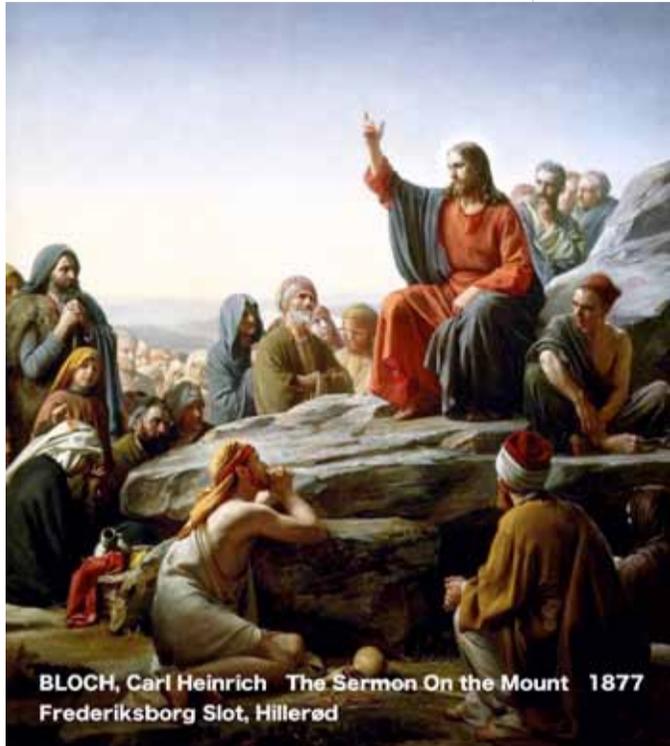
待降節になり、クリスマスシーズンの始まりです。周囲の喜ばしいクリスマスソングやイルミネーションに囲まれると、私は嬉しくなります。この季節、私は自然に「心の貧しい人々は幸いである」というイエス様の祝福の約束を思い出します。不思議なことに、この言葉の文脈を合わせてみると、祝福される対象は全部弱い者なのです。

さて「心の貧しい人」の中の「心」というギリシャ語原語は、聖書のほかの箇所にも「霊」と訳されているもので、「神様の霊」というふうにも用いられる言葉です。つまり、「神の霊との関わりにおいて貧しい人々」という意味です。

私はこの「貧しさ」について深く自覚しました。私は人に「なぜクリスチャンになったのか」と聞かれると、よく「クリスチャン家庭で生まれてゆえです」と答えます。しかし私は3代目のクリスチャンですが、自分の

信仰をいつも弱く感じます。それは自分の信仰が親に依存して形成されたものではないかという劣等感があるからです。神様との関係の中で体験しつつ、確信を深めた信仰が私の中にあるのでしょうか?私の場合、パウロのように神様に奇遇されるような経験もありません。人生で辛いと気持ち落ち込みます。そんな自分の信仰を貧しく思います。しかしそのように弱くても幸いだと思っても神様を信じています。

さて信仰について考える時、印象的に思い出す光景があります。それは一方通行の狭い道で、工事をしているトラックの光景です。トラックは正面から来た乗用車を道を譲るために、横の道に曲がって止まりました。トラックは乗用車



BLOCH, Carl Heinrich The Sermon On the Mount 1877 Frederiksborg Slot, Hillerød

が通つてから元のところに戻るつもりだったのでしよう。そのトラックは運転のシフトレバーをバックのところにしたままでよけていたのです。ですから、トラックのスピーカーはずっと『バックします』『バックしました』と鳴っていました。それで、警備の人がどんなに乗用車を誘導しても、乗用車はトラックのスピーカーの音を聞き、トラックがバックしてくと、全然動かなかつたのです。このことから、乗用車の運転手はたとえ常識的に正しく判断してくれた工事の誘導員を信頼しなかつたゆえに、受けることのできた厚遇をはじめてしまい、時間を浪費し、周囲にも残念な思いをさせてしまいました。

さて、幸いの話に戻りましょう。何が幸いかと言えば、私たちの考えでは、やはり富んでいて、力があつた、自分を開花さ



せれば幸いと思うのです。しかし、イエス様が言う幸いは、世の常識をひっくり返しているのです。先程の乗用車とトラックの話と同じように、私たちは常識に傾くのか、本質を見て判断するのか、自問したいものです。たとえイエス様の教えを聞いても、私たちの目が今までの常識に縛られて受け入れられないから、この「幸い」を理解できずに終わるでしょう。

ですから、イエス様を低く地上に送られた神様に感謝します。イエス様が人間の低き弱さを知るからこそ、いつも人の側に立つて共感し、弱い者も忍耐強く支えてくださるのです。そして誰もが自分の弱さを認め低くなるならば、いつでもイエス様に助けをもらえるのです。これこそ、私の信仰の励みです。

これから定年を迎え、バトンを若い世代に渡すのは寂しいことです。しかし依然として神様のそばに居るなら、小さな歩みでも、自分のできるところでお役に立てるといふ希望は消えません。貧しく弱い者の幸いを身をもって喜び分かち合うことを続けていきたいものです。



②その地方で羊飼いたちが野宿をしながら、夜通し羊の群れの番をしていた。すると、主の天使が近づき、主の栄光が周りを照らしたので、彼らは非常に恐れた。天使は言った。「恐れるな。わたしは、民全体に与えられる大きな喜びを告げる。今日ダビデの町で、あなたがたのために救い主がお生まれになった。この方こそ主メシアである。」

(ルカによる福音書2:8-11)

学生の頃、「あなたは何もわかつていない。一度路上で寝てみなさい」と教授に言われたことがありました。横浜の野宿者や日雇いの労働者をはじめとする「貧困」をテーマにした授業中のことでした。今思えばトンチンカンな発言をしたわたしに対して、教授は冒頭の言葉をかけたのです。

躍起になったわたしは、横浜の路上で寝てみました。11月下旬、晴れてはいましたが夜は寒く底冷えしていました。どこから寝られるか、夜の街を彷徨い歩きました。段ボール

を敷き横たわると、アスファルトから伝わるキンとした冷たさが身体に刺さるようでした。しばらくすると靴の音がしました。そして夜中ずつと誰かが通つたような気がして安心して眠ることはできませんでした。日が昇りはじめ明るくなる街になりました。首都圏の路上で生きる厳しさを痛感その後現在に至るまでの12年、野宿者支援活動にかかわってきました。また、その日は必死だったので気づきませんでした。が、まるでクリスマスのような体験だったことに後になって気付きました。

そして、今ならわかるのです。泊まる場所を探し彷徨うヨセフとマリアの気持ち。夜通し野宿をしながら羊の番をした羊飼いが感じた寒さや、不安の中で天使に導かれた喜びを。家畜小屋でクリストの誕生を祝い、小屋を出て浴びる朝日の眩しさを。

わたしたちのキリストは、誰もがお祝いにつけられる場所でお生まれになったことを心に留めたいと思います。今年もすべての人とともに、クリスマスをお祝いしましょう。

メリークリスマス!



「アポロ13号」

「光は暗闇の中で輝いている。暗闇は光を理解しなかった。」(ヨハネによる福音書！)

5) アドヴェントの時期になると映画『アポロ13』(1995)を想起します。アポロ13号は1970年4月11日に打ち上

げられた3人乗りの月面探査船。しかし宇宙船は2日目で電源がショート、火花が飛んで酸素タンクが爆発・損傷という事態が発生。電力と酸素が断たれたら生命維持は困難で、月面着陸のミッションどころか地球に戻ることも不可能となります。3人は着陸船を救命ボートに見立てて乗り移り、地上のNASAと手に汗を握るやり取りを通してあらゆる手立てを尽くすのです。消費電力を限界にまで抑え飲料水の摂取を極力控え、遂に無事地球に帰還することができたのです。その対応の

鮮やかさによってそれは成功した失敗とも称されます。トム・ハンクス演じるジム・ラヴェル船長は発射前のインタビューで、かつて海軍のパイロットだった時の体験について触れています。日本海での夜間飛行中、電気系統の故障

でコックピット内のライトが突然すべて消えてしまう。マッハを超える速度です。水平に機が保たれているかを示す水準器も、方向を示すコンパスも、残りの燃料量も何も見えない絶体絶命のピンチ。彼は「瞬折るような気持ちになります。自分の平衡感覚に頼りつつ何とか機を水平に保ちながら飛んでいると次第に眼が闇に慣れてくる。すると不思議なことに海がボツと青白く光っているのが見えてきた。それは海面に浮かぶ夜光虫でした。コックピットが明るいうちは見えなかったかすかな光が見えてきたのです。さらに目を凝らすとそこには数時間前に航空母艦が通った跡がくつきりと二筋の黒い線として見えてきました。母艦が夜光虫を押しつけて通った跡です。ラヴェル船長は「それを道標として母艦に帰艦することできました」と淡々と答えていました。どのような危機の中でも沈着冷静さを失わない宇宙飛行士だからこそアポロ13号の場合も無事生還することができたのでしよう。印象に残りました。

賛美歌と私たち



⑥ 讃美歌(1954年版)
小澤周平
(名古屋めぐみ教会牧師)

1954年出版の『讃美歌』(写真こそ、日本基督教団出版局発行の今でも現役の歌集です。(本連載では『讃美歌』(1954年版)と表記します。これは他の『讃美歌』と区別するために『讃美歌21』のまえがきに準じました。他の資料では『昭和29年版 讃美歌』や『54年版』とも記されますので、『54年版 讃美歌』と呼んでも良いのでしよう。)

第二次世界大戦を経て、沢山の聖書、歌集、そしてオルガンまでもが失われました。戦後、人々の歌集の求めに対しては、アメリカからの援助物資や、暫定的な改訂をした1931年版の『讃美歌』が頼りでした。

ど曲についてもかなり手を入れました。『讃美歌』(1954年版)は、日本のプロテスタント教会の代表的歌集としての責任をも担って編集が進められました。教派を超えて共通に用いられる役割(共通歌集)としての役割です。現在の日本のキリスト教界を眺めると、当初の想いが実現されている様子もうかがえます。

この度左記の行為を致しますので、宗教法人法第23条の規定に基づき公公告致します。

2019年12月15日
宗教法人
日本福音ルーテル教会
代表役員 大柴譲治
信徒利害関係人 各位

スオミ教会千地建物売却
ア)スオミ教会 土地
所在地 東京都中野区上高田1丁目
所有者 日本福音ルーテル教会

地番 36番1
地目 宅地
地積 330.57㎡
ア)スオミ教会 建物
所在地 東京都中野区上高田1丁目36番地1
所有者 日本福音ルーテル教会

種類 礼拝堂教職舎
構造 鉄筋コンクリー
ト3階建
床面積
1階 109.81㎡
2階 161.35㎡
UG 207.88㎡

理由 第28回総会期第5回常議員会承認 宣教地移転計画のため



「北海道寺子屋合宿」について

内藤新吾

(稔公教教会牧師・原子力行政を問う直す 宗教者の会)

毎年、覚えていただき感謝です。放射線の影響が心配される地域の子どもたちの保養事業、原子力行政を問う直す宗教者の会の「北海道寺子屋合宿」は9年目の夏も、非常に有意義なことを過すことができまし

た。今年参加者は子ども

104人、保護者47人の計151人でした。あと、ここにスタッフやボランティアも加わります。参加者は主に福島県から仙台港よりフェリーで苫小牧港に着き、その日は札幌へ移動して真宗大谷派の青少年センターを借りて泊る日のガイダンスを共にします。そのあと各自レンタカーで、お世話になる寺や教会へ散って行きます。

期間は北海道滞在1週間、半月、1ヶ月と選んでいただき、家族や団体などで何期かに分けています。往復フェリーにもスタッフが行きます。すべての交通費と滞在先への貸布団

代などは宗教者の会が負担し、参加者は自炊費用や動物園へ行ったりなどの余暇代を負担します。内部被曝の心配のない空気・水・食事のもと、ゆったりとした時間がある期間過すことにより、子どもたちは確実に免疫力を回復します。実際、行く前に行つた後の尿検査をした年もありますが、それは数値で表われます。あと、何よりガイダンスのとき、お母さん方が、ふたんにできない苦悩や苦労話を互いに話し合えることが大きな慰めや力となっているようです。リーダーも多いので、お祈りに覚えていただければ幸いです。

福島県では今、どんどん増える小児甲状腺がんを隠すための検査縮小(志願制にすること)が責任者たちにより口にされています。が、とんでもないです。『II甲状態が子どもも基金』は、手術を受けられたお子さん家族への支援を行っています。

また、手術を受けられたお子さん方のご家族どうしの交流の会も自分たちで作られ、互いの励ましとなっておられます。甲状腺がん支援グループ「あじさいの会」といいます。どちらもホームページがあります。こちらも、お祈りに覚えていただければ幸いです。

また、手術を受けられたお子さん方のご家族どうしの交流の会も自分たちで作られ、互いの励ましとなっておられます。甲状腺がん支援グループ「あじさいの会」といいます。どちらもホームページがあります。こちらも、お祈りに覚えていただければ幸いです。

また、手術を受けられたお子さん方のご家族どうしの交流の会も自分たちで作られ、互いの励ましとなっておられます。甲状腺がん支援グループ「あじさいの会」といいます。どちらもホームページがあります。こちらも、お祈りに覚えていただければ幸いです。



1泊2日のガイダンスでの一コマ

全国アイコネット ワーク「秋のセミナー」に 参加して

岩切雄太
〔八幡教会・門司教会牧師〕

第27回秋のアイコネットセミナーが、10月13日(日)〜14日(月)に、博多教会(特別養護老人ホーム「よりあいの森」の見学含む)で行われた。今回のメイン講師は、特別養護老人ホーム「よりあいの森」代表の村瀬孝生さん。村瀬さんは温厚な声で「よりあ」という介護施設の成り立ちから今日に至るまでの経緯を語られた。それは、高齢者の問題を、ゴールドエイスの結び目を二刀両断するよいうなものではなく、「一人のお年寄りの生活を支えること」から始まった「一人ひとりを大切に」という支援のあり方(よりあの方)であった。

にする」ということ、それがあたりまえではない社会のなかで繰り広げられる冒険譚のように聞こえたのだ。村瀬さんは言われる。「私たちが大切にしていることは、お年寄りを縛らない、閉じ込めない、薬づけにしないこととす」と。これまた「そんなことあたりまえじゃないか」と思われるだろう。しかし、私たちの社会は、認知症で徘徊し始めたお年寄りの生活を制限するだろう。また、自然な老いによって脚が弱り転倒のリスクがあるお年寄りの生活は限定されたりもする。そんなふうには私たちが社会は、お年寄りの生活を「制限」し「限定」することを、「しかたないよね」的に受け入れていくのではないだろうか。

そうであるならば、「制限」「限定」に對置される言葉は「普通」なんだけど、私たちがの社会は、お年寄りに「普通」に生きられないことを強いていると言えらるだろう。村瀬さんは言われる。「私たちにできることは、いなくなったら探すこと、転んでいたら早く見つけることです」と。

LWFアジア指導者会議

浅野直樹 Sr.
〔市ヶ谷教会牧師・世界宣教主事〕

10月4日から7日にかけて、ルーテル世界連盟(LWF)アジア指導者会議が開かれ出席しました。アジア19カ国の45加盟教会の代表と地元から、総勢173名がイン

私たちは(いくつになっても)迷子になり転んだりする。それが「普通」なんだ。考えさせられ励まされる、すてきなお話でした。



ドネシアの北スマトラにあるペマタンシアンタに集まりました。この会議はアジアのルーテル各教会のビショップや議長たちの協議の場として2年ごとに開催されますが、JELCからは大柴議長が代理出席することになりました。テーマは Pursuing Peace Through Interfaith Relations in Asia 「他宗教と共に目指すアジアの平和」。会場国インドネシアは、イスラム教徒の人口が世界最大で

ありながら、パンチャシラという方針をスカルノ大統領政権以来大切に守っており、これが宗教の自由を保障しています。そのためにキリスト教人口は2番目に大きく、北スマトラには大きなルーテル教会のコミュニティがあります。宗教間対話も盛んに行われており、今回の会議でもこの分野に関する専門家で

JELCはアジアでの宣教に着手しようとしていますが、今回の協議会

ではアジアの各ルーテル教会が取り組んでいる海外宣教について聞くこともできました。JELCよりも小さな教会でありながら、世界宣教をアジア各地で展開している数々の教会の活動に触れ、驚きと大きな刺激を受けました。

の夜はなんとかアピールしようと浴衣と下駄で登場したら、これが大受け。ベストドレッサー賞をいただいでしまいました。礼拝と話し合いだけでなく、楽しい交わりの大切さをも実感しました。



カルチャーイベントで表彰される浅野牧師

ルターナイト 「耳を澄ませばカンボジア」

石原 修
市ヶ谷教会

2014年に東教区に「伝道を考える会ジュニア」が作られ、教科書で誰でも知っているルターの顔、そして著名なパッハを利用して、宗教改革500年までの3年間

「耳を澄ませばカンボジア」というタイトルとなりました。

二人は、毎年カンボジアの各地を訪問し子どもたちの支援するため、履かなくなったきれいな運動靴(裸足で破傷風で亡くなる子どもが多いため)、未使用の歯ブラシ・

が、当日の売り上げより、JELC、JVC、岩崎さん・arouさんのカンボジア子ども支援のために捧げられました。徳善義和先生からルターナイトのために頂いたパッハの言葉「祈りをもってする音楽においては常に神がおられる、恵みの現臨をもって。」(徳善先生訳)を胸に、これからも続けていきます。



最後に皆で「アラピヤ」を歌いました

「伝道を考える会ジュニア」が作られ、教科書で誰でも知っているルターの顔、そして著名なパッハを利用して、宗教改革500年までの3年間

「耳を澄ませばカンボジア」というタイトルとなりました。

二人は、毎年カンボジアの各地を訪問し子どもたちの支援のため、履かなくなったきれいな運動靴(裸足で破傷風で亡くなる子どもが多いため)、未使用の歯ブラシ・

が、当日の売り上げより、JELC、JVC、岩崎さん・arouさんのカンボジア子ども支援のために捧げられました。徳善義和先生からルターナイトのために頂いたパッハの言葉「祈りをもってする音楽においては常に神がおられる、恵みの現臨をもって。」(徳善先生訳)を胸に、これからも続けていきます。



ルターナイトのシンボルイメージ

春の全国ティーンズ キャンプのお知らせ

宣教室TNG委員会

ティーンズ部門と各教区教育部が主催する今年度の春の全国ティーンズキャンプを千葉市少年自然の家において開催します。ぜひ、対象となる子どもたちを送り出してください。

第27回春の全国ティーンズキャンプ

●テーマ イエスさまは「いつメン」
●主題聖句 マタイによる福音書1・23
●日程 2020年3月

日本ルーテル神学校 オープンセミナー報告

宮本 新
(日本ルーテル神学校)

10月13〜14日、JELCとNRKの両教会(神学教育委員会)、そして日本ルーテル神学校が次世代の教職養成を祈りとし、オープンセミナーを開催しました。折しも台風直撃の日と重なり、全員の参加(申込み9名)はかないません

●24日(火)〜26日(木)
●対象 12歳〜18歳
(2020年4月2日時点)

●会場 千葉市少年自然の家(千葉県長生郡長柄町)

●参加費 1万5千円(バス代込み)

●*東京でのバス乗車集合場所までの交通費は別途必要。
*3月24日以降のキャンセルは参加費の半額のキャンセル料がかかります。

●申し込み締め切り 2月23日(交通の手配がありますので早目にお申込みください。詳しい移動方法等は各教区担当者からご連絡します。)

●申し込み方法 ngj.lets.net/teenscamp/ から申し込み込んでください。
●*下記のQRコードからもアクセスできます。
●*所属教会牧師の承認を受けてください。
●*正式登録されるとTNG-Teens ブログに教会名とイニシャルが表示されますのでご確認ください(申し込みから数日かかります)。

●申し込み方法 ngj.lets.net/teenscamp/ から申し込み込んでください。
●*下記のQRコードからもアクセスできます。
●*所属教会牧師の承認を受けてください。
●*正式登録されるとTNG-Teens ブログに教会名とイニシャルが表示されますのでご確認ください(申し込みから数日かかります)。

94
メールアドレス harukyan.moushikomi@gmail.com
●持ち物 聖書、筆記用具、保険証、参加費、洗面用具、着替え、防寒着、入浴用品
(ボディソープ・リン スインシャンプー・ドライヤーは施設にあります)。
●*3月24日用の昼食・飲み物。
●*今回の春キャンプでもバラエティショーをおこないます。バラエティショーとは、ティーンズのみならず演奏やコントなパフォーマンスを披露する時間です。時間は1グループ約5分。個人での参加でもグループでの参加でも大歓迎!出演者をキャンプ1日目に募集します。みなさんのご参加を待っています。



したが、各地の青年、教職者が神学校に集まり、模擬講義などのプログラムを通して、学びと交わりのひと時をもちました。キリスト者として生きること、神学を学ぶこと、そして自分たちと教会の将来など、さまざまなお話を学び語り合う恵まれた2日間でした。牧師を志し、神学校に進むことには個々人の決意も大切な点ですが、もう一つの側面があります。献身者は単独者ではなく、祈られてきた人た

ちでもありません。信仰者の群れ、教会の存在があります。その祈りと使命に込めて、神さまは人を立て、人は神の召しに応えます。今回の企画の原点にもなりました。参加者一同と祈りを深める機会を今後も継続したいと考えています。引き続き、教会の祈りに覚えていただけましたら幸いです。

「オープンセミナーに参加して」
上田泰洋(大江教会)
10月13日から14日に

かけて、ルーテル学院大でオープンセミナーが行われました。台風の影響により、参加者の中にも来られない方が数名おられました。参加することができたことを感謝します。

現在、大学3年生であり、神学について学んでいます。来年4年生となり、将来について考える時期にあります。その中で、この度、神学校のオープンセミナーで、神学校での様々な先生方のお話を聞くこ

とによって、神学校の中でどのような学びをしているのかなんとなくですが、実感することができました。特に宮本新先生の「聖書と世界」についての話はこれからのキリスト教について学ぶことができ、興味深い学びの時間となりました。

今回のオープンセミナーでは自分の将来について一面的ではなく多面的に考えることができる、良ききっかけになりました。初の

第3回「えきゅぶる」報告
(市ヶ谷教会) 谷口愛

カトリック教会、日本福音ルーテル教会、日本基督教団の有志の青年たち(「エキユメニカルプロジェクト実行委員会」が企画した、青年のためのエキユメニカルの集い「えきゅぶる」)が10月19日、日本福音ルーテル東京教会で開催された。

その後行われた合同礼拝の中で祈った。また、教派別に異なる訳の「主の祈り」を、聖書の通り同じ言葉で祈ったことも恵みのひとときとなった。(マタイ6・9-13)

